

予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名 岐阜県「ミナレク運動」推進事業費（R8分）

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

観光文化スポーツ部 ねんりんピック推進事務局 交流大会・レクリエーション係 電話番号：058-272-1111(内2682)

E-mail：c11175@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 72,300 千円 （現計予算額： 0 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	72,300	22,369	0	0	0	0	0	0	49,931
決定額									

2 要 求 内 容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

2016年に本県で開催した「第70回全国レクリエーション大会 in 岐阜」を契機に、県民皆がレクリエーションに取り組む「ミナレク運動」を全県展開している。「ねんりんピック岐阜2025」においても県民運動として大会を盛り上げ、本県独自の取組として24のレク種目を25市町村で実施し、これまでレクリエーションの普及拡大を図ってきた。

一方で、普及拡大の担い手であるレクの指導者層が高齢化し、全体の若返りが急務である。

このため、これまでの取組に加え、ぎふモーニングプロジェクトとの連携による更なるレクの普及拡大、担い手としての若者の参加促進、医療分野との連携など、幅広い視点からミナレク運動を推進することにより、健康長寿社会の実現を図る。

（2）事業内容

①レクリエーションの全県的な普及拡大（58,203千円）

- ・ 保育園、福祉施設などに加え、新たに、ぎふモーニングプロジェクトと連携し、喫茶店へもレク指導者を派遣することにより、レクの普及拡大を更に推進
- ・ 事業者向けレク指導者派遣を充実強化することにより、若者のレクへの参加促進を図るとともに、レクの担い手として取り込む
- ・ 大学と連携し、即戦力となる大学生を将来のレク指導者として育成
- ・ 医療関係者を講師とした教室の開催、リハビリに活用できるレク体験プログラムの開発など、新たに、医療分野と連携し、レクの普及拡大を推進

- ②ぎふレクリエーションフェスティバルの開催（13,986千円）
 - ・開催内容…レク体験イベント「ミナレク広場」
交流大会、市町村グラウンド・ゴルフ大会、市町村協賛イベント
- ③レクリエーション推進団体の認定（111千円）
 - ・ミナレク運動の推進及び裾野拡大に向け、レクリエーションやスポーツに親しむための行動計画を作成し実践する団体・学校等を認定

（３）県負担・補助率の考え方

年齢、障がいの有無、性別などに関わらず、誰もが気軽に取り組めるレクリエーションの推進は、健康長寿社会の実現を図るための取組であり、人生百年時代の健康づくりを進めていくうえで県の実施は妥当。

（４）類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容		金額	事業内容の詳細
①レクリエーションの全県的普及	委託料	58,203	派遣指導者による講習会、市町村レク協会の育成、レク推進団体の活性化
小計①		58,203	
②ぎふレクリエーションフェスティバルの開催	旅費	489	職員旅費
	消耗品費	200	事務消耗品
	燃料費	74	公用車ガソリン費
	役務費	100	通信運搬費
	負担金	13,123	実行委員会県負担金
小計②		13,986	
③レクリエーション推進団体の認定	旅費	36	職員旅費
	消耗品費	33	認定証用紙等
	役務費	9	通信運搬費
	使用料	33	認定会場借上げ料
小計③		111	
合計（①～③）		72,300	

決定額の考え方

--

4 参考事項

（１）各種計画での位置づけ

岐阜県清流の国スポーツ推進条例第9条
第2期清流の国ぎふスポーツ推進計画

（２）後年度の財政負担

ぎふレクリエーションフェスティバルは、「全国レクリエーション大会in岐阜」を引き継いだ大会として2017年から実施している。

子どもから高齢者まであらゆる世代の県民が、多様なスタイルでスポーツやレクリエーションを楽しみ、生涯にわたり健康と生きがいを得ることを目的としており、継続して本事業を実施する。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

県民が気軽に参加できるレクリエーション運動の普及を図るため、1日1回はレク指導者派遣の実施、年間のレク指導者派遣回数を365回とすることで、県内のいろいろな地域で、すべての県民がレクリエーションに触れる機会を創出し、レクリエーションを通じた健康づくりの取組みの普及拡大、定着を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標	
					365回 (R9)	達成率
①指導者派遣回数	219回	401回	365回	365回	365回 (R9)	110%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<p>令和4年9月7日～令和5年2月25日 りんご清流レクリエーションフェスティバル開催 りんご清流レクリエーションフェスティバルは、地域のレク普及を促進させるため、5圏域での圏域イベント等を開催し、スポーツ・レクリエーションの普及に寄与した。指導者派遣によるレクリエーションの講習会（383回）やミナレク運動推進リーダーの養成（5回）及び市町村レク協会への研修会（3回）、レクリエーション推進団体の紹介（2回）を実施し、年度末までにレクリエーション推進団体を計 584 団体（R4：24 団体）認定した。</p> <p>指標① 目標：<u>310回</u> 実績：<u>383回</u> 達成率：<u>124</u> %</p>
令和5年度	<p>令和5年8月27日～令和6年2月25日 りんご清流レクリエーションフェスティバル開催 りんご清流レクリエーションフェスティバルは、地域のレク普及を促進させるため、5圏域での圏域イベント等を開催し、スポーツ・レクリエーションの普及に寄与した。指導者派遣によるレクリエーションの講習会（427回）やミナレク運動推進リーダーの養成（5回）及び市町村レク協会への研修会（3回）、レクリエーション関連動画の配信（4回）を実施し、年度末までにレクリエーション推進団体を計 589 団体（R5：9 団体）認定した。</p> <p>指標① 目標：<u>365回</u> 実績：<u>427回</u> 達成率：<u>117</u> %</p>
令和6年度	<p>令和6年9月1日～令和7年3月9日 りんご清流レクリエーションフェスティバル開催 りんご清流レクリエーションフェスティバルは、地域のレク普及を促進させるため、5圏域での圏域イベント等を開催し、スポーツ・レクリエーションの普及に寄与した。指導者派遣によるレクリエーションの講習会（401回）やミナレク運動推進リーダーの養成（5回）及び市町村レク協会への研修会（3回）、レクリエーション関連動画の配信（4回）を実施し、年度末までにレクリエーション推進団体を計 615 団体（R6：33 団体）認定した。</p> <p>指標① 目標：<u>365回</u> 実績：<u>401回</u> 達成率：<u>110</u> %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	ぎふレクリエーションフェスティバル、レクリエーション指導者派遣の拡大等を実施することで、県民がレクリエーション運動を行う機会が増え、健康維持や体力向上、更にはスポーツ実施率の向上に繋がるため事業の必要性が高い。
・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 3	ぎふレクリエーションフェスティバルは、5圏域での圏域イベント等を開催し、レクリエーションの普及拡大に期待以上の成果があった。
・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	ぎふレクリエーションフェスティバル実行委員会は、県、県レクリエーション協会、市町、市町レクリエーション協会で構成する実行委員会形式をとっており、各方面と連携し、効率的な事業運営が図られている。

(今後の課題)

--

(次年度の方向性)

引き続き、県民の日常生活の中での「体、心、頭」の健康を増進し、誰もが健康寿命の延伸を図ることができる社会「明るく健康で笑顔あふれる岐阜県づくり」の実現に取り組む。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	